

IV 事業

1 平成30年度事業報告

平成30年度事業の概要

当財団は、新潟市民の芸術文化及び歴史文化の振興を図り、もって、自主的自発的な市民文化の創造に寄与することを目的とする公益財団法人として、新潟市において感動し驚きに出会い、そして共に生きる絆を創る人々の文化的プラットフォームの構築に寄与し続けるための事業展開に努めています。

平成30年度は、市民の自主的な文化活動を支援するとともに、指定管理施設を生かして、市民各層の皆さまに多様な分野による質の高い創造的な芸術文化事業を提供し、合わせて普及と育成に努めました。市民芸術文化会館は開館20周年を迎え、改修工事も終了し、各種の記念事業を展開しました。

また、開港150周年に向けて、整備が完了した旧新潟税関庁舎をはじめとして歴史博物館等を通じ、「みなとまち新潟」の魅力を広く皆さまから楽しんでいただくための事業を展開しました。

財団運営では、新潟市の財政が厳しい状況にある中、事業の効率化に努め、経費の圧縮と節約を常に意識しながら取り組みを進めました。

当財団の事業体系は以下のとおりです。

(公益目的事業)

公1 事務局事業

1 文化事業

- ・アーツカウンシル新潟の運営
- ・主催・共催、表彰顕彰、支援助成等事業

2 会議の開催状況

公2 芸術文化会館・音楽文化会館・県民会館事業

○市民芸術文化会館及び音楽文化会館

1 文化事業

2 文化施設管理受託事業

○県民会館

1 文化事業

2 文化施設管理受託事業

公3 歴史博物館等・旧小澤家住宅事業

○歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等

1 文化事業

2 文化施設管理受託事業

○市文化財旧小澤家住宅

1 文化事業

2 文化施設管理受託事業

(収益事業)

収1 付帯・施設貸与事業

1 付帯事業 (各施設)

2 施設貸与事業 (各施設)

事業報告の詳細については、次に記載のとおりです。

1 文化事業 65, 105, 381 円

平成 28 年 9 月に設立した「アーツカウンシル新潟」の運営を通じ、市民の自主的な文化芸術活動を支援したほか、新潟市の文化的な環境の充実、各分野の文化活動の活性化を目的とした事業を実施した。

(1) アーツカウンシル新潟の運営 53, 248, 463 円

東京 2020 大会に向けた文化プログラムに全市一体で取り組み、市民の文化芸術活動の活性化を図るとともに、国際観光の振興や経済活動の推進につなげ、大会終了後もその成果を継承し、持続的な文化創造交流都市の推進体制を構築することを目的に、1.市民文化芸術活動支援、2.調査・研究、3.情報発信、4.企画立案の機能を有する専門人材による組織「アーツカウンシル新潟」の運営を行った。なお、平成 30 年末に転出による欠員が生じたため、新たに 1 名を採用した。

また、将来的な組織の自律化及び人材確保に向けたインターンシップや研修等の環境整備を行った。

【人員確保・人材育成】

○H28 年度 専門人材の募集・配置 [PD1 名、PO2 名、スタッフ（臨時）1 名]

・ 設立日 平成 28 年 9 月 26 日

○H29 年度 専門人材の公募・選考 [PD1 名、PO5 名、スタッフ（臨時）1 名]

○H30 年度 専門人材の公募・選考 [PD1 名、PO4 名、スタッフ（臨時）1 名]

【環境整備】

○イオン電子マネー「にいがた BUNKA WAON」（ご当地 WAON カード）の発行、発売。

○（公財）新潟市芸術文化振興財団のインターン受入体制を整備。

○秋田公立美術大学から 1 名インターン生を受け入れ、OJT による研修を実施。

○文化庁主催事業「プロジェクトスクール@3331」への運営協力を実施。

① アーツカウンシル事業（43,766,550）**【文化芸術活動の支援】**

文化芸術等に関する市民団体等の相談窓口を通じて、企画、広報、財源確保策などの助言、支援を行った。

また、市民主体の文化芸術活動の活性化と、持続・自律化に向けて、昨年度に引き続き当財団が実施している既存の文化芸術活動支援助成事業の募集・助言（相談）・審査・支援を行うとともに、平成 29 年度に新設した、基盤、仕組みづくり及び環境の創出をめざす取り組みに特化した助成事業である「文化芸術基盤整備促進支援事業」を引き続き実施し、募集・助言（相談）・審査・支援を行った。また、市や国、民間財団等が実施する助成制度を活用

した支援を行った。

加えて、東京 2020 大会に向けた文化プログラムである「beyond2020 プログラム」の認証団体として、事務手続きを担当し、市内の団体に対する助言（相談）・支援を行った。

○相談窓口の開設

- ・相談対応件数 105 件（68 団体等から）
- ・一般相談 41 件
- ・助成関連 64 件

○既存助成事業の募集・助言（相談）・審査・支援

- ・平成 30 年度助成事業の募集・審査・助言（相談）
（申請件数 21 件、採択件数 11 件、総額 199 万円）

○文化芸術基盤整備促進支援事業の募集・助言（相談）・審査・支援

- （申請件数 7 件、採択件数 4 件、総額 316 万円）

○市や国、民間基金等が実施する助成制度を活用した支援

- ・市民団体の助成原資確保に向けた（公財）内田エネルギー科学振興財団への助成金申請
（申請数 1 件、採択額 30 万円）

○beyond2020 プログラム認証事務（受付、審査等）

- ・認証件数 110 件

【調査・研究】

- 現地視察及び支援を通じた市内文化芸術団体に係る実態調査
- 海外（英国、フランス、シンガポール）における文化芸術振興に関する現地調査・研究

【情報発信】

平成 29 年度に引き続き、東京 2020 大会に向けた新潟市における文化プログラムを効果的に発信するため、文化庁「文化情報プラットフォーム」と連携したホームページを構築・運営するとともに、アーツカウンシル新潟が行う支援情報のほか、文化プログラム推進に向けて効果的に情報発信を行うためのツールを運営した。

また、市民文化芸術活動団体の掘り起こしや交流によるネットワーク形成等を目的に、市民が気軽に相談・利用できる文化情報スペースを運営するとともに、同スペース等を活用し、有識者等、ゲストを交えた交流企画「語りの場」を計 5 回開催した。

加えて、新潟県文化振興議員連盟等からの講演依頼を受け、アーツカウンシル新潟の PR を行うとともに、文化政策などへの理解を進めた他、地域アーツカウンシルの設立を検討する自治体からの視察等について、積極的に受け入れを行った。

○アーツカウンシル新潟 公式ホームページの構築・運用

- ・年間ビュー数：51,531 ビュー

○アーツカウンシル新潟 facebook ページの運用

- ・投稿件数（4 月 1 日～3 月 31 日）：89 件、ページいいね数：59 件、ページフォロワー数：646 件

○文化プログラムネットワークメールの運用

- ・ 主な配信内容：beyond2020 認証事業の紹介、アーツカウンシル新潟主催イベントの紹介
- ・ 配信回数（4月1日～3月31日）：6件、登録件数：82件

○文化情報スペースの開設・運営

- ・ アーツカウンシル新潟の事務室に、市民が気軽に文化芸術に関する情報を収集、相談することのできる文化情報スペースとして平成28年度に開設したスペースを運営し、文化情報蓄積等に資するネットワーク形成を図った。
- ・ 文化情報スペース利用状況 107回／年

○ゲスト講師を交えた交流企画「語りの場」の開催

- ・ 実施回数：計5回、参加128人
第1回 ファンドレイジングって何ですか？ 奥山大介 [5月11日、20人]
第2回 障害者芸術・文化祭の活かし方 大塚千枝、前山裕司 [6月27日、31人]
第3回 音楽でつなぐ人と社会 柿塚拓真、野村誠 [8月30日、34人]
第4回 ダンスが地域でできること 佐東範一、Lata [9月18日、18人]
第5回 アートプロジェクトの評価を考える 綿江彰禪 [12月18日、25人]

※講師敬称略

○視察受入実績

- ・ 受入自治体数：4自治体（市及びAC新潟受入数 合計）
- ・ 受入自治体名：岡山市議会（7月5日）、岡山市（7月18日）、（公財）いばらき文化振興財団（9月12日）、静岡県（11月14日）

【企画・立案】

市の文化政策として行う事業に対して、調査等に基づく専門的な見地から助言や提言を行ったほか、障がい福祉課、市民協働課等と連携し、市職員向けの勉強会を開催した。また、新潟市文化創造交流都市ビジョンの成果検証の方法に関して助言を行うとともに、文化創造推進委員会を開催し、それぞれ事業の成果（アウトカム）及び指標について検討を行った。また、市主催事業に対して、専門人材として各種支援を行った。

○行政関係からの相談件数 23件

○市文化事業への評価・提言（Noism、水土市民プロジェクト）

○社会包摂に関する勉強会「文化施設等におけるアクセシビリティ勉強会」

- ・ 開催日：第1回 平成30年11月6日、第2回 平成31年1月30日
- ・ 場所：新潟市民芸術文化会館 りゅうとぴあ、新潟市役所本館3階 対策室3
- ・ 参加者数：第1回44名、第2回18名

○「新潟市文化・スポーツコミッション」との連携（事業誘致支援）

○「水と土の芸術祭2018」にかかる企画運営支援

- ・ シンポジウムの企画協力

○新潟市芸術創造村・国際青少年センター

- ・ 「新潟市芸術創造村・国際青少年センター」評価委員会におけるアーティスト・イン・レジデンスの作家選定に参加。

- 新潟市秋葉区文化会館運営委員会委員就任。
- 「WORLD DANCE COMPETITION in NIIGATA」審査員。

② 文化庁他、委託・補助事業関連 (9,481,913)

- 文化庁「平成 30 年度文化芸術創造都市推進事業」
 - ・ 文化庁による地方公共団体などが加盟する文化芸術創造都市ネットワーク（CCNJ）の事務局運營業務。「総会・幹事会」「創造都市政策セミナー」「専門部会」（現代芸術の国際展部会）「創造農村ワークショップ」及び各地域ブロックでの「分科会」を開催した。
※平成 31 年度受託。契約金額 10,869,025 円。
- 平成 30 年度「伝統音楽普及促進支援事業合同研究事業「伝統音楽研究会」」
 - ・ 学校教育を中心としながら教育現場における伝統音楽の指導・活用方法を研究するとともに、地域教育コーディネーターや、地域における郷土芸能団体にも参加いただき、伝統音楽を保存・継承する“地域の力”の構築を目指すため、研究・研修会を 10 回にわたり開催した。
- 「第 34 回国民文化祭・にいがた 2019、第 19 回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会」エリアコア事業のコーディネーター業務
 - ・ 「新潟・阿賀エリア」及び「佐渡エリア」の助言、コーディネート業務を行った。

(2) 支援助成事業 2,341,385 円

市民の自主的な文化芸術活動の充実・活性化と新潟市の文化芸術活動の振興を目的として、市民が行う文化芸術事業に対して、申請時期を 3 回に分け、上限 50 万円で助成金を交付した。
(助成対象事業は審査会に諮って決定)

期 別	事 業 実 施 期 間	申請件数	交付件数	交付金額
平成 30 年度 第 1 回	平成 30 年 4 月 1 日から 平成 30 年 9 月 30 日まで	10 件	6 件	875,000 円
平成 30 年度 第 2 回	平成 30 年 7 月 1 日から 平成 31 年 3 月 31 日まで	6 件	2 件	445,000 円
平成 30 年度 第 3 回	平成 30 年 10 月 1 日から 平成 31 年 3 月 31 日まで	5 件	3 件	670,000 円
合 計		21 件	11 件	1,990,000 円

(3) 坂口安吾顕彰事業 5,257,419 円

新潟市が管理する安吾 風の館（旧市長公舎）で下記展覧会を開催したほか、「坂口安吾デジタルミュージアム（HP）」の充実、安吾顕彰団体と連携を図っての生誕祭、小中学生の総合学習や新潟市が実施する動く市政教室、さわやかトーク宅配便への協力等により安吾の普及啓発に努めた。また、引き続き関係資料の調査研究を行った。

- ・「坂口家の絵どころ」展

開催日 平成 30 年 4 月 7 日～7 月 22 日 (77 日間)

内 容 安吾の父坂口仁一郎は、新潟新聞の社主であり、衆議院議員であったが、漢

詩人として著名であり、書画もよくした。また印のコレクターとして友人と印の交換を楽しむなど、文人としての交友も広がった。兄献吉は、新潟新聞社に勤めてラジオ新潟を創立したが、若い頃から歌を詠み、岸田劉生に心酔して油絵を描いた。父仁一郎の肖像画はよく知られている。

このたびは、坂口家の趣味の世界を紹介した。安吾は友人のために挿絵を描いたり、愛息のための腹掛けをデザインしたりしている。仁一郎、献吉、安吾と三様の絵どころあふれる作品から、普段着の素顔を紹介した。

入場者 1,763 人

・「第 5 回旅 安吾、政宗の城に乗込む」展

開催日 平成 30 年 8 月 4 日～11 月 22 日 (82 日間)

内 容 安吾の取材旅行を紹介する「旅」シリーズ第 5 回は、仙台を紹介。1951 年 3 月から 12 月に渡って連載された「安吾新日本地理」の中で、伊達政宗によって開府された仙台藩は、文化や人々の生活あらゆるものが政宗にはじまり、その影響を受けている。

安吾は宮城県内の各所（仙台、石巻、塩竈、松島、牡鹿半島など）を取材してまわっている。東北は 2011 年 3 月 11 日未曾有の大地震に見舞われ、津波の被害など今尚復興の途上にある。安吾は戦後復興の様子を書いたが、それは現在にも当てはまる。

政宗が築いた仙台藩と、安吾の見た戦後、大地震からの復興に取り組む現代を重ねて紹介した。時に安吾の言葉が今も響くことに驚かされた。

水と土の芸術祭（7/14～10/8）の開催で、県内外からの関心を集めた。

入場者 3,876 人

・「安吾って!? Part 1」展

開催日 平成 30 年 12 月 8 日～平成 31 年 3 月 24 日 (72 日間)

内 容 今年度より冬季には、企画展でのテーマ別ではなく、「坂口安吾」という大きなくくりで紹介する展示を行った。その第 1 回目。

ペンネームの由来や少年時代のエピソードなどをコラム形式で紹介。亡くなる直前まで愛用していたステッキや旅行鞆などの遺愛の品々、愛読していた書籍、安吾作品の数々を紹介した。

特に最近発刊された「歴史小説コレクション」や安吾作品が原作の漫画本など、書店や図書館で手に取りやすい文庫や著作、評論本など、安吾関連の最新情報も紹介した。観戦メモと自筆原稿を対照させて紹介。

入場者 1,300 人

(4) 共催事業 4, 150, 972 円

対象が市内広域におよぶ、文化振興に大きく貢献する以下の文化事業を共催し、負担金を支出した。

・第 32 回新潟市伝承芸能保存会 郷土芸能公演「郷芸」 (300,000)

開催日 平成 30 年 7 月 15 日 入場者 185 人

・2018 にいがた総おどり祭（下駄総踊り） (1,000,000)

開催日 平成 30 年 9 月 15 日～17 日 来場者 200,000 人

- ・第 66 回新潟市芸能まつり (2,500,000)

開催日 平成 30 年 9 月 24 日～平成 31 年 1 月 27 日 入場者 16,050 人

- ・第 50 回新潟市美術展 (350,000)

開催日 前期：平成 30 年 10 月 10 日～14 日／後期：平成 30 年 10 月 17 日～21 日

入場者 5,253 人

(5) 表彰顕彰事業 106, 942 円

新潟市で開催される公募展に財団賞を交付し、底辺の拡大を図った。

- | | |
|------------------|------|
| ・新潟市美術展 | 5 部門 |
| ・アークベル県民アマチュア絵画展 | 2 部門 |
| ・新潟光風会展 | 1 部門 |
| ・新潟県工芸会展 | 1 部門 |
| ・二科新潟展 | 1 部門 |

(6) 芸術家支援事業 200 円

新潟市が実施する下記の芸術家支援制度について、広報、申請受付、融資金の振込などの事務を受託した。

- ・助成金等内定者資金融資制度

融資件数 0 件 融資金額 0 円

2 会議の開催状況

(1) 評議員会

① 第 1 回(定時) 平成 30 年 6 月 5 日

- ・平成 29 年度事業報告及び決算について
- ・監事の補欠選任について
- ・理事の選任について

② 第 2 回 平成 30 年 7 月 9 日【書面】

- ・評議員の辞任に伴う補欠選任について

③ 第 3 回 平成 31 年 3 月 26 日

- ・基本財産の処分について
- ・理事の辞任に伴う補欠選任について

(2) 理事会

① 第 1 回 平成 30 年 4 月 1 日【書面】

- ・規程、規則の一部改正(理事の職務権限規程)について
- ・常務理事の選定について
- ・常勤役員の報酬の金額等について
- ・事務局長の任命について

② 第 2 回 平成 30 年 5 月 22 日

- ・平成 29 年度事業報告及び決算について
- ・定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について

③ 第 3 回 平成 30 年 6 月 5 日

- ・理事長及び常務理事の選定について
- ・常勤役員の報酬の金額等について
- ・事務局長の任命について
- ・代表理事、業務執行理事の職務執行状況について(報告)

④ 第 4 回 平成 30 年 7 月 3 日【書面】

- ・第 2 回評議員会(書面)の日時及び場所並びに目的である事項について

⑤ 第 5 回 平成 31 年 3 月 26 日

- ・平成 30 年度補正予算について
- ・規程、規則の一部改正(給与規程、会計規程、職員就業規則、嘱託職員就業規則、特別職員就業規則、臨時職員就業規則、処務規程)について
- ・常勤役員の報酬の金額等について
- ・育児休業と介護休業等に関する規程の制定について
- ・新潟市民芸術文化会館「自主文化事業」特定費用準備資金取扱規程の制定について
- ・基本財産の処分について
- ・文化振興基金取扱規程の制定について
- ・第 3 回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について
- ・平成 31 年度事業計画及び予算について
- ・代表理事、業務執行理事の職務執行状況について(報告)

○ 新潟市民芸術文化会館及び新潟市音楽文化会館

1, 217, 897, 708 円

1 文化事業 509, 125, 922 円

市民芸術文化会館の三つの専門ホールや音楽文化会館、県民会館等諸施設を十分に生かした、質の高い創造性あふれる鑑賞事業を主催するとともに、音楽などの愛好者の拡大とジュニアの育成を目的とした事業を行った。

また、市民芸術文化会館、音楽文化会館、及び県民会館を芸術文化活動の拠点施設に、全国に向けて創造的に音楽・舞台芸術などを発信しながら芸術文化の振興を図った。

(1) 音楽事業 141, 963, 571 円

東京交響楽団との提携による質の高い演奏と幅広いプログラム内容の演奏会、日本を代表するコンサートホールにふさわしい演奏家を招聘した世界水準の演奏会や、音楽愛好者拡大のための演奏会、さらにオルガンの活用事業、音楽文化会館でのコンサートなど多彩な演奏会を開催することにより、聴衆の水準を高めるとともにその拡大に努めた。

また、各種講座の開催や普及プログラムにより市民の音楽活動の底辺の拡大や、ジュニアの育成の強化を図った。

① 鑑賞事業 (92,497,996)

ー東京交響楽団シリーズー

・東京交響楽団新潟定期演奏会

第 107 回 平成 30 年 5 月 13 日(日) ～チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲～

第 108 回 平成 30 年 7 月 8 日(日) 開館 20 周年記念～ヴェルディ：レクイエム～

第 109 回 平成 30 年 9 月 30 日(日) ～ブラームス：交響曲第 1 番～

第 110 回 平成 30 年 11 月 4 日(日) ～ラフマニノフ：交響曲第 2 番～

第 111 回 平成 30 年 12 月 2 日(日) ～シューマン：チェロ協奏曲～

第 112 回 平成 31 年 3 月 31 日(日) ～ベートーヴェン：交響曲第 5 番～

・東響定期+α 神尾真由子ヴァイオリン・リサイタル 平成 30 年 4 月 29 日(日)

・東響定期+α ピアノ・リサイタルシリーズNo. 37 シャルル・リシャール＝アムラン
平成 30 年 6 月 3 日(日)

・東響定期+α NHK交響楽団 開館 20 周年記念 平成 30 年 10 月 7 日(日)

ー室内楽シリーズー

・No. 36 三浦一馬キンテート 平成 30 年 11 月 3 日(土・祝)

ーオルガンシリーズー

・歴代オルガニスト ジョイント・コンサート 平成 30 年 7 月 28 日(土)

・山本真希リサイタルシリーズ No.25 平成 30 年 11 月 10 日(土)

・オルガン・クリスマスコンサート 2018 平成 30 年 12 月 13 日(木)

ーホール体験事業ー

・1 コインコンサート

Vol.94「ピアノ」	平成30年4月28日(土)
Vol.95「オルガン」	平成30年5月10日(木)
Vol.96「ユーフォニアム」	平成30年6月1日(金)
Vol.97「声楽／バス」	平成30年9月21日(金)
Vol.98「サクソフォン四重奏」	平成30年10月6日(土)
Vol.99「チェロ」	平成30年12月5日(水)

ーその他ー

- ・帰ってきたホルン紅白 平成30年8月4日(土)

② 育成・普及事業 (49,465,575)

ーオルガン事業ー

- ・オルガン普及プログラム

ポジティブオルガン演奏コースⅠ	平成30年9月9日(日)～10月28日(日)
ポジティブオルガン演奏コースⅡ	平成31年1月13日(日)～3月10日(日)
リスナーコース	平成30年9月9日(日)～10月14日(日)
大オルガン特別講座	平成30年7月11日(水)
思いっきりオルガン演奏体験	平成30年8月1日(水)

ー市民参加合唱団ー

- ・にいがた東響コーラス 平成30年4月4日(水)～7月8日(日)

ージュニア等育成事業ー

- ・ジュニアオーケストラ教室育成事業

第37回演奏会	平成30年9月16日(日)
クリスマスコンサート	平成30年12月23日(日)

- ・全国公立ジュニアオーケストラ連絡協議会

第32回幹事会	平成30年5月15日(火)～16日(水) 豊田市
第33回幹事会	平成31年2月22日(金) 墨田区

- ・ジュニア合唱団育成事業

第28回定期演奏会	平成30年7月15日(日)
クリスマスコンサート	平成30年12月16日(日) 音文
第41回新潟県少年少女合唱団合同演奏会	平成30年8月11日(土)
にいがたジュニアコーラス・フェスティバル2019	平成31年2月10日(日) 聖籠町

- ・ジュニア邦楽合奏教室育成事業

和楽器わくわく体験デイ	平成30年4月4日(水)
第23回定期演奏会	平成30年7月29日(日) 音文

- ・ジュニア音楽教室第15回スプリングコンサート 平成31年3月30日(土)

ーその他ー

- ・避難訓練コンサート 平成30年10月9日(火)
- ・りゅーとぴあアウトリーチ事業

本間優ピアノ・リサイタル	平成30年12月3日(月) スタジオA
外山裕介ユーフォニアム・リサイタル	平成30年12月6日(木) スタジオA
アウトリーチ(市内小学校ほか)	平成30年7月5日(木)～11月7日(水) 全23回

・大学生アーツ・マネジメント研修	平成 30 年 8 月 3 日(金)～6 日(月)
・気軽に音ステージ	平成 30 年 6 月 3 日(日)音文
・おんぶんリレーコンサート 2018	平成 30 年 10 月 26～28 日(金～日)音文
・コンサートホール企画連絡会議	平成 30 年 8 月 8～9 日(水・木)新潟 平成 31 年 2 月 4～5 日(月・火)墨田区

(2) 演劇事業 167, 168, 764 円

多様な専門機能を持つ劇場と伝統様式の能楽堂を活用し、公共の劇場や製作会社が製作した作品及び小劇場系の演劇作品や伝統芸能などの様々な公演を開催し、にぎわいのある劇場空間の創造と観客の拡大を目指した。「物語の女たちシリーズ」「りゅーとぴあプロデュース」の企画により新潟発のオリジナル作品を創造し、全国に向けて発信した。また開館 20 周年の記念事業としてミュージカル「シャンポーの森で眠る」を再演、市民と共に舞台創造に取り組んだ。育成事業では「演劇スタジオ APRICOT」を通して次世代を担う子どもたちのなかから舞台芸術に携わる優れた人材や観客を育み、広く演劇活動の振興を図った。

① 鑑賞事業 (48,895,498)

・竹中直人・生瀬勝久企画公演「火星の二人」	1 回公演	平成 30 年 5 月 21 日(月)
・白石加代子「百物語」アンコール公演「牡丹灯籠」	1 回公演	平成 30 年 6 月 16 日(土)
・ナイロン 100℃ 新作公演「鞆丸」	2 回公演	平成 30 年 7 月 31 日(火)・8 月 1 日(水)
・阿佐ヶ谷スパイダース「MAKOTO」	1 回公演	平成 30 年 9 月 1 日(土)
・「第三十回ふるまち新潟をどり」	2 回公演	平成 30 年 9 月 23 日(日)
・水都寄席「第 20 回 春風亭小朝独演会」	1 回公演	平成 30 年 11 月 11 日(日)
・「ゲゲゲの先生へ」	2 回公演	平成 30 年 11 月 22 日(木)・23 日(金)
・「ロミオとジュリエット」	1 回公演	平成 30 年 12 月 19 日(水)
・NE/ST 公演「BOOTS」「BEACH」	4 回公演	平成 31 年 2 月 14 日(木)～16 日(土)

② 育成・普及事業 (10,742,828)

・りゅーとぴあ演劇スタジオ APRICOT	通年（発表公演：夏季／アウトリーチ／春季）
APRICOT2018 夏季公演「ハイジ」 4 回公演	平成 30 年 8 月 10 日（金）～12 日（日）
APRICOT2019 春季公演 スタジオトライアル公演「シンデレラ」 6 回公演	平成 30 年 3 月 16 日（土）～21 日（火）
APRICOT アウトリーチ事業 1 回	平成 31 年 3 月 24 日（日）
APRICOT 演劇体験ワークショップ 2 回	平成 30 年 10 月 27 日（土） 平成 31 年 3 月 24 日（日）
・りゅーとぴあ・演劇ワークショップ「シニアリーディングワークショップ」 2 回	平成 30 年 11 月 30 日（金） 12 月 1 日（土）

③ 新潟発創造事業 (107,530,438)

・りゅーとぴあプロデュース公演「人形の家」	1 回公演	平成 30 年 5 月 10 日(木)
東京公演	9 回公演	5 月 14 日(月)～20 日(日) 東京芸術劇場・シアターウェスト
兵庫公演	2 回公演	5 月 23 日(水)～24 日(木) 兵庫県立芸術文化センター・阪急中ホール

・開館 20 周年記念事業 ミュージカル「シャンポーの森で眠る」 4 回公演

平成 30 年 10 月 19 日(金)～21 日(日)

・物語の女たちシリーズ第 2 弾「燃えよ剣」(再演) ツアー公演 2 回公演

石巻公演) 平成 30 年 11 月 4 日(日) 石巻市河北総合センタービックバン

海老名公演) 11 月 7 日(水)

海老名市文化会館

(3) 能楽事業 30, 284, 151 円

伝統様式に則った本格的な能舞台の舞台を活用し、子どもから一般までを対象とした鑑賞公演と、能狂言に対する基礎的な知識や興味を高める能楽講座、ワークショップ等を開催した。また、子どもたちを対象としたお囃子と狂言のワークショップやアウトリーチ事業の能楽体験教室を開催して若年層への能楽普及を図った。

① 鑑賞事業 (27,812,736)

- ・春の能楽鑑賞会「道成寺」(宝生流) 1 回公演 平成 30 年 5 月 12 日(土)
- ・能楽堂で楽しむ昆劇「繡襦夢」 1 回公演 平成 30 年 6 月 10 日(日)
- ・野村万作・萬斎狂言公演 2 回公演 平成 30 年 7 月 21 日(土)
- ・秋の能楽鑑賞会「卒塔婆小町」(観世流) 1 回公演 平成 30 年 9 月 29 日(土)
- ・馬場あき子特選能「塩津哲生の『景清』」 1 回公演 平成 30 年 12 月 9 日(日)
- ・若手能楽師スペシャル公演「巴」 1 回公演 平成 31 年 3 月 30 日(土)

② 育成・普及事業 (2,471,415)

- ・能楽基礎講座「若手能楽師に聞く能の楽しみ」 2 回 平成 30 年 4 月 21 日(土)
平成 30 年 8 月 19 日(日)
- ・能楽体験教室「『羽衣』を体験しよう！」 1 回 平成 30 年 7 月 5 日(木)
- ・能楽体験講座「舞の習い」 全 8 回 平成 30 年 6 月 27 日(水)～9 月 8 日(土)
発表公演 平成 30 年 9 月 9 日(日)
- ・「さわってみよう能の世界」 1 回 平成 30 年 11 月 10 日(土)
- ・能楽ワークショップ「謡」(市内小学校) 4 回 平成 30 年 7 月 5 日(水)
平成 31 年 1 月 21 日(月)
- ・能楽ワークショップ「囃子」(能楽堂・市内小中学校) 4 回 平成 30 年 6 月 5 日(火)・6 日(水)
- ・能楽ワークショップ「狂言」(能楽堂・市内小学校) 4 回 平成 31 年 2 月 26 日(火)・27 日(水)

(4) 舞踊事業 127, 267, 565 円

全国唯一のレジデンシャル・ダンス・カンパニー Noism の活動を通して、水準の高い新潟オリジナルの舞踊作品を国内外に向けて創造発信し舞台芸術の振興を図った。さらにアーティストが地域に定住する特性を生かし、舞台芸術に携わる優れた人材や観客を育んだ。また、新潟市などとの協働・連携や他都市の劇場・音楽堂等との連携・協力関係を構築することから、全市的及び国内における拠点施設としての地位と役割を高め、文化創造都市としての更なるイメージ向上に努めた。

① 新潟発創造事業

- ・りゅーとぴあ レジデンシャル・ダンス・カンパニー Noism 運営事業

(公演事業)

- ・開館 20 周年記念事業 Noism1 & SPAC 劇的舞踊 vol.4『ROMEO & JULIETS』
新潟公演 3 回公演 平成 30 年 7 月 6 日(金)～8 日(日)
埼玉公演 3 回公演 平成 30 年 9 月 14 日(金)～16 日(日)
- ・Noism1 新作 実験舞踊 vol.1『R.O.O.M.』/『鏡の中の鏡』
新潟公演 13 回公演 平成 31 年 1 月 25 日(金)～27 日(日)、
1 月 31 日(木)・2 月 1 日(金)、2 月 3 日(日)・4 日(月)、
2 月 9 日(土)～11 日(月祝)、2 月 15 日(金)～17 日(日)
東京公演 5 回公演 平成 31 年 2 月 21 日(木)～24 日(日)
- ・Noism2 特別公演『ゾーン』 3 回公演 平成 30 年 7 月 27 日(金)～29 日(日)
- ・Noism2 定期公演 vol.10 5 回公演 平成 31 年 3 月 15 日(金)～17 日(日)

(その他受託事業)

- ・Noism2 〈アート・ミックス・ジャパン〉「にいがた総おどり」出演
主催：アートミックスジャパン実行委員会
りゅーとぴあ・劇場 平成 30 年 4 月 14 日(土)
- ・Noism1 〈上野の森バレエホリデイ〉『Mirroring Memories—それは尊き光のごとく』
主催：〈上野の森バレエホリデイ〉実行委員会
東京文化会館〈小ホール〉 平成 30 年 4 月 28 日(土)～30 日(月祝)
- ・Noism1 『NINA—物質化する生け贄』／『The Dream of the Swan』上海公演
主催：Shanghai International Dance Center Theatre Management Co., Ltd.
Shanghai International Dance Center Theatre 〈Grand Theatre〉
平成 30 年 5 月 19 日(土)～20 日(日)
- ・Noism2 『砕波』 主催：第 68 回新潟県公民館大会実行委員会
新潟市江南区文化会館 平成 30 年 7 月 19 日(木)
- ・Noism1&2 劇的舞踊『ラ・バヤデール—幻の国』 ロシア・サンクトペテルブルグ公演
主催：NPO DIAGHILEV. Postscriptum. International festival of the arts in St Petersburg
Alexandrinsky Theatre 平成 30 年 11 月 21 日(水)

② 普及事業

- ・「柳都会」第 19 回 須長檀×金森穰 りゅーとぴあ・スタジオ B 平成 30 年 12 月 2 日(日)
- ・「柳都会」第 20 回 近藤一弥×金森穰 りゅーとぴあ・スタジオ B 平成 31 年 3 月 24 日(日)
- ・Noism サマースクール りゅーとぴあ・スタジオ B 平成 30 年 7 月 26 日(木)～30(月)

(5) 共催事業 1,800 円

芸術団体等とのタイアップにより、効果的な事業運営と芸術文化の振興を図るほか、文化団体との共催による全国規模の事業を行った。

また、4 月 28 日～29 日に開催された「春の新潟・音楽ウィーク 2019」では、新潟市などで構成される音楽祭実行委員会に財団も参加し、主催事業との連動することで広範な集客を図った。

- ・佐渡裕指揮ウィーン・トーン・キュンストラ管弦楽団 平成 30 年 5 月 18 日(金)

・鼓童&バック・ハー	平成 30 年 5 月 26 日(土)
・森山良子	平成 30 年 9 月 29 日(土)
・シュトゥットガルト室内管弦楽団	平成 30 年 10 月 12 日(金)
・第 66 回新潟市芸能まつり	平成 30 年 9 月 24 日(月・祝)～平成 31 年 1 月 27 日(日) 音文ほか
・「第 15 回劇場で踊ろう！ダンスキッズ大集合」	平成 31 年 1 月 13 日(日)

(6) 広報営業事業 15, 023, 756 円

開館 20 周年記念事業を中心に、公演情報を積極的に発信するとともに、チケット購入者の拡大や大口の顧客確保並びに企業協賛の募集など、広報・営業活動を効果的に展開し、合わせて上質な施設機能を広くアピールして、会館の知名度の拡大と利用促進を図った。

また、指定管理を受託している新潟県民会館の事業も併せて広報・営業活動を効果的に展開し、市民芸術文化会館、音楽文化会館、県民会館の 3 館一体管理による文化ゾーンとしての魅力を高めるよう情報の発信に努めた。

- ・広報・営業事業
- ・音楽広報事業
- ・演劇広報事業

(7) 調査研究諸費 294, 986 円

次年度以降の事業の企画立案や円滑な施設運営を図るため、先進ホールの運営や優れた公演などについて調査・研究を進め、ノウハウの取得や人的交流の拡大に努めた。

(8) 事業企画諸費 13, 519, 874 円

音楽・演劇・舞踊等の各分野において、その専門家からの指導・助言を受け、優れた芸術文化事業を効果的に企画・実施するとともに、専属オルガニストを引き続き配置し、オルガン音楽の魅力を内外に発信した。

- ・芸術監督（音楽部門・演劇部門・舞踊部門）
- ・専属オルガニスト
- ・演劇企画プロデューサー

(9) 事業管理経費 13, 601, 455 円

票券業務、託児サービス業務などを引き続き実施し、お客様の利便性の向上に努めた。

2 文化施設管理受託事業 708, 771, 786 円

(1) 市民芸術文化会館管理事業 588, 195, 673 円

平成 10 年 10 月に開館した市民芸術文化会館は、通年の自主事業・貸館事業等に市民を始めとする多くの方々に来館いただいている。

平成 30 年度も一層のサービス向上に努め、より多くの来館者に安心・快適に利用してもら

えるよう管理運営を行った。

- ① コンサートホールの管理
- ② 劇場の管理
- ③ 能楽堂の管理
- ④ ギャラリーの管理
- ⑤ スタジオの管理
- ⑥ 練習室の管理

※ 平成30年度市民芸術文化会館入館者数 241, 848 人

(2) 音楽文化会館管理事業 120, 576, 113 円

昭和 52 年 11 月に開館した音楽文化会館は、13 の練習室と成果発表に多く使用されるホールを備えた全国でも特徴のある施設として永く市民に親しまれてきた。

平成 10 年度より当財団がその管理を受託している。

平成 30 年度も市民芸術文化会館及び県民会館との一体的な管理を図りながら会館の管理運営を行った。

- ① ホールの管理
- ② 練習室（13 室）の管理

※ 平成30年度音楽文化会館入館者数 152, 338 人

1 文化事業 12, 997, 202 円

大小の専門ホールなどの諸施設を活用した、大規模で質の高い、多様な鑑賞事業を展開するとともに、芸術の普及と県内の文化を担う人材の育成を図るための事業を実施した。

また 27 年度より開始した、チケット販売システムや広報媒体について、市民芸術文化会館との共用を開始し、利用者の利便性の向上と事業の広大・促進を図った。

(1) 歌舞伎事業

- ・歌舞伎プレセミナー 平成 30 年 6 月 16 日 (土)
- ・松竹大歌舞伎 2 回公演 平成 30 年 7 月 4 日 (水)

(2) 舞踏事業

- ・新国立劇場バレエ「こどものためのシンデレラ」 1 回公演
平成 30 年 9 月 23 日 (日)

(3) ミュージカル事業

- ・宝塚歌劇「雪組 全国ツアー」 2 回公演 平成 30 年 4 月 3 日 (火)
- ・劇団四季「ソング&ダンス 65」 1 回公演 平成 30 年 10 月 18 日 (木)

(4) 音楽事業

- ・ハアヘオ来日公演～ハワイアン・ミュージック&フラ・コンサート～ 1 回公演
平成 30 年 6 月 6 日 (水)
- ・めざましクラシックス in 新潟 1 回公演 平成 30 年 6 月 10 日 (日)
- ・スロヴァキア国立放送交響楽団 1 回公演 平成 30 年 6 月 26 日 (火)
- ・フランス・レイ・オーケストラ 1 回公演 平成 30 年 10 月 21 日 (日)
- ・鼓童 巡 ～MEGURU～ 1 回公演 平成 30 年 11 月 30 日 (金)
- ・ハリウッド・フェスティバル・オーケストラ 1 回公演
平成 31 年 1 月 6 日 (日)
- ・チェコ国立ブルノ・フィルハーモニー管弦楽団 1 回公演
平成 31 年 2 月 11 日 (月祝)

(5) 演劇事業

- ・ザ・デイサービス・ショウ 1 回公演 平成 30 年 4 月 26 日 (木)

(6) 普及事業

- ・スタインウェイピアノを弾こう！ 平成 31 年 2 月 24 日 (日)
- ・出張！たたこう館（佐渡太鼓体験交流館） 平成 31 年 3 月 9 日 (土)
- ・太鼓出張訪問ワークショップ 平成 31 年 3 月 8 日 (金)
- ・春のジョイントコンサート 平成 31 年 3 月 10 日 (日)

(7) 育成事業

- ・アート・プロデュース講座 平成 31 年 3 月 7 日 (木)

2 文化施設管理受託事業 121, 670, 026 円

県民会館管理事業

昭和 42 年 12 月に開館した新潟県民会館は、大小のホールと 2 つのギャラリー、4 つの会議室を中心に、コンサートや演劇、美術展、会議など幅広い用途で多くの方々に利用して頂いている。

平成 27 年度より当財団が県民会館の指定管理者となったが、これまで以上にお客様が安心かつ円滑に施設を利用して頂けるよう、上質なサービスの提供に努めるとともに、会館運営のさらなる効率化を図った。

- ① 大ホールの管理
- ② 小ホールの管理
- ③ ギャラリーの管理
- ④ その他施設（会議室・談話室、展示コーナー、情報ラウンジ等）の管理

※ 平成30年度新潟県民会館入館者数 301, 710 人

○ 新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等

165, 774, 676 円

1 文化事業 35, 323, 023 円

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため、以下の各種事業を行った。

(1) 展示運営更新 298, 944 円

人と水の関りをテーマに新潟市の歴史を紹介。学芸員やボランティアによる展示解説を行った。また、川村修就コーナーの展示ケースを6月と1月の2回、展示替えした。

(2) 企画展示事業 4, 077, 630 円

新潟開港 150 周年記念の特別展を含む計 4 本の企画展を指定管理事業で実施した。

① 「キラリ★新潟＜美＞の刀剣」展 (1,887,411)

日本美術刀剣保存協会新潟支部会員が所蔵する刀剣を中心に、無銘左貞吉などの古刀をはじめ、新刀および新々刀、現代刀の打刀、太刀、脇差、短刀、薙刀、槍などの刀身および刀装具を紹介した。

会期中には、「耳から学ぶ刀剣」をテーマとした公開講座で、酒井忠久氏（致道博物館館長）から「世界に誇る日本刀文化」、近藤昌敏氏（日本美術刀剣保存協会新潟支部長）から「日本刀の魅力とその楽しみ方」と題してお話いただいた。

開催期間 平成 30 年 4 月 14 日～6 月 3 日 44 日間

観覧者数 7,621 人（うち有料観覧者 5,703 人、無料観覧者 1,918 人）

② 「玉と鏡の世界－西安・新潟友好交流特別」展 (24,550,108)

中国西安博物院との友好提携 10 周年と新潟開港 150 周年を記念し、西安博物院が所蔵する戦国・秦・漢・唐の各時代の玉と鏡を展示した。

会期中は、王鋒鈞氏（西安博物院副院長）の「玉と鏡－霊通之物」と岡村秀典氏（京都大学教授）の「古代の鏡を読む」の 2 本の特別講演をはじめ、「古代鏡づくり」、「勾玉づくり」、「古代鏡のチョコづくり」などの体験イベントや夜間開館した「お月見ナイトミュージアム」を実施した。

開催期間 平成 30 年 9 月 15 日～10 月 28 日 41 日間

観覧者数 4,512 人（うち有料観覧者 2,394 人、無料観覧者 2,118 人）

③ 第 15 回むかしのくらし展「容れ物」 (1,233,115)

衣食住の日常生活や仕事、さまざまな行事などで使われた容れ物を中心に、むかしの道具の移り変わりを紹介した。

会期中は、実際に道具に触れながら学芸員の解説を聞く体験イベント「展示品をさわって・

聞いてみよう」や、「お弁当の歴史」と題したミニ講座を担当学芸員が講師になって実施した。

開催期間 平成 30 年 11 月 10 日～平成 31 年 1 月 27 日 62 日間

観覧者数 7,041 人（無料観覧者）

④「収蔵品展・新収蔵品展」 (124,002)

今年度は新規受け入れの資料を区別せず、新旧の収蔵品を織り交ぜながら約 100 点の館収蔵資料を公開した。

開催期間 平成 31 年 2 月 9 日～3 月 17 日 32 日間

観覧者数 6,176 人（無料観覧者）

(3) 教育普及事業 236, 759 円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人的資源や博物館が有するモノや情報を活用して、歴史に関するさまざまなサービスの提供や活動の提案を行った。そのほか、レファレンス用の開架図書を購入した。

① 体験の広場事業

体験の広場の施設や資料を活用し、学芸員とボランティアスタッフ・外部協力者により、小学生や家族連れ・大人等を対象に各種の体験プログラムを計 86 回実施した。

② 博・学連携事業

小学校・中学校の見学に際し展示解説等を行うほか、職場体験の中学生を受け入れるとともに、地域学習として市内の小学校へ出向いて授業を行った。また、新潟大学と連携して当館学芸員による寄附講義を開講するとともに、大学生を受入れ、通年および期間集中の博物館実習を実施した。さらに、同志社大学留学中のドイツチュービンゲン大学の学生 2 名をインターンとして受入れた。

③ 講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案することを目的として、幅広いニーズに対応するための以下の各種講座を開催した。

・博物館講座 全 10 回、古文書入門講座 全 4 回、館長講座 全 4 回など

④ ボランティア事業

敷地ガイドや常設ガイド、体験の広場のプログラムの実施・補助として活動するボランティアを養成するとともに、その活動を支援した。さらに、1 月 12 日の旧税関庁舎再公開にあたっては、ボランティア主体の塔屋見学や各種イベントを実施した。その他ボランティアによる自主事業を多数開催した。

(4) 施設普及事業 1, 822, 343 円

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」(3 回)、年報などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図った。

① 地域連携事業の実施

博物館近隣の市民団体や国・県などと共催で、新潟の港や下町の PR を目的に以下の事業を企画・開催した。

堀とさくらのコンサート (4/15 雨天中止)、夕涼みコンサート (8/18)、みなと・しもま

ち・川まつり(8/26 雨天中止)

② みなとびあファンクラブ

博物館の情報を定期的に会員に向けて提供した。また、会員向けの企画展鑑賞会・まちあるき「開港 150 年埠頭巡り」(10/26)・館長バスツアー「阿賀野市史跡の旅～北蒲原郡の大地主と在郷町～」(6/3)・館長講演会・学芸員による講座を実施した。

(5) 調査研究事業 505, 438 円

主に企画展示や収蔵品展に関連した調査・研究を実施した。

そのほか、学芸員の専門分野における研究や館活動を通じた資料調査も随時行い、その成果は博物館講座を通じて市民に報告・還元するとともに、主なものを『研究紀要 15 号』にまとめた。

(6) 資料整理事業 1, 181, 341 円

寄贈を受けたり、購入したりした歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行った。

① 保存環境管理

館蔵資料の長期保存のため、展示室やケースなどの展示施設をはじめ、収蔵施設である本館収蔵庫・旧木場小学校、板井保育園等について、各種の保存環境調査や清掃、防虫対策のためのくん蒸など、I P M に則った各種の保存環境管理を行った。

② 資料収集整理

地域の歴史を語る資料を収集するとともに、資料を管理し活用するために、資料の基礎的データや資料の詳細情報を調査・記録した。

(7) 開港150周年に向けた歴史文化魅力発信事業 26, 347, 539 円

① 「新潟開港 150 年史」刊行

新潟開港 150 周年の記念誌を編集・刊行した。

② 「玉と鏡の世界－西安・新潟友好交流特別展」開催

先述の特別展を本事業の一環で開催した。

(8) 歴史発見プロジェクト 853, 029 円

新潟の歴史に親しみ、自らが歴史を発見する喜びを知ってもらうため、歴史を題材とした以下の自主事業を行った。

① 企画展

ア「にいがた船と港の 150 年」展

開港後 150 年のみなとの歴史を紡いできたさまざまな入港船舶を紹介するとともに、航路や港湾施設の移り変わりを紹介した。

開催期間 平成 30 年 7 月 14 日～8 月 19 日 33 日間

観覧者数 4,822 人(無料観覧者)

イ「旧新潟税関庁舎と史跡」展

耐震改修工事を経てリニューアルした旧税関庁舎を会場に、建物に施された工事内容や重要文化財・史跡としての価値、また、旧新潟税関の特色などを紹介した。

開催期間 平成 31 年 1 月 12 日～3 月 17 日 50 日間

観覧者数 5,086 人（無料観覧者）

② 史楽講座

「伝承の現場から」をテーマに、生活技術や芸能文化の継承者を招いて全 4 回の講座を行った。

③ 中級古文書演習

実際の古文書を読むため、全 20 回の実践向け演習を行った。

④ こども歴史クラブ

小学生を対象にクラブ員を募り（会員 29 名）、古代から近現代までの人々の暮らしに関わる体験プログラムを計 11 回実施した。

2 文化施設管理受託事業 130, 451, 653 円

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等の管理運営を行った。なお、耐震補強等改修工事のため平成 28 年 6 月から休館していた旧新潟税関庁舎は 11 月末で工事が完了し、平成 31 年 1 月 12 日から再公開している。

(1) 歴史博物館管理事業

① 博物館本館（常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等）

② 旧第四銀行住吉町支店（応接室、会議室、日本間）

③ 屋外施設（広場、堀、園路等）

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

① 旧新潟税関庁舎

② 史跡（石段、石積み、石庫等）

(3) 信濃川左岸緑地管理事業

※ 平成30年度歴史博物館入館者数 112, 079 人（「旧新潟税関庁舎と史跡」展 5,086 人を含む）

1 文化事業 840, 371 円

指定管理の受託事業者として旧小澤家住宅の設置目的に基づき、常設展示とともに企画事業や教育普及事業などを積極的に開催し、来館者の増加に努めた。

なお、事業の開催に当たってはボランティアの皆さんからガイドを行っていただいた。

【旧小澤家住宅の設置目的】

市文化財に指定された旧小澤家住宅を活用し、みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する。

(1) 常設展示・企画事業 177, 691 円**【常設展示】**

旧小澤家住宅の概要と小澤家の来歴、そして「みなとまち新潟」の歴史や生活文化について、グラフィックパネルで紹介した。

【企画事業】

旧小澤家住宅の雰囲気と風合いに合わせた日本の伝統的な工芸品展などを開催した。

① 「小澤家ゆかりの品々」(GW特別展示) 展

GWに合わせて小澤家ゆかりの品々から美術工芸品を中心に展示した。

開催期間 平成 30 年 4 月 28 日 (土) ～5 月 6 日 (日)

観覧者数 630 人 (有料観覧者 596 人、無料観覧者 34 人)

② 「端午の節句飾り」展

端午の節句に合わせて小澤家に伝わる節句飾りを展示した。

開催期間 平成 30 年 4 月 28 日 (土) ～5 月 13 日 (日)

観覧者数 877 人 (有料観覧者 835 人、無料観覧者 42 人)

③ 「むかしの教科書—小澤家ゆかりの品々—」展

小澤家に伝わる教科書などを展示し、むかしの人たちの学びについて紹介した。

開催期間 平成 30 年 5 月 19 日 (土) ～6 月 10 日 (日)

観覧者数 1,174 人 (有料観覧者 1,091 人、無料観覧者 83 人)

④ 「屏風」展

小澤家に伝わる屏風や市博物館が所蔵する屏風を展示した。

協力：新潟市歴史博物館

開催期間 平成 30 年 6 月 19 日 (火) ～7 月 1 日 (日)

観覧者数 628 人 (有料観覧者 601 人、無料観覧者 27 人)

⑤ 「東日本大震災と海のゴミ」展

海の日になみ、海の大切さの普及啓発する一助として海洋汚染の現状を紹介した。

協力：一般社団法人 JEAN

開催期間 平成 30 年 7 月 7 日 (土) ～7 月 16 日 (月)

観覧者数 372 人 (有料観覧者 308 人、無料観覧者 64 人)

⑥ 「新潟漆器」展

新潟市の伝統工芸品「新潟漆器」を紹介した。共催：新潟市漆器同業組合。

開催期間 平成 30 年 8 月 1 日（水）～8 月 31 日（金）

観覧者数 1,329 人（有料観覧者 1,119 人、無料観覧者 210 人）

⑦ 「旅するふろしき」展

新旧様々なふろしきを展示し、その魅力と楽しみ方を紹介した。共催：ふろしきや。

開催期間 平成 30 年 9 月 11 日（火）～9 月 30 日（日）

観覧者数 1,015 人（有料観覧者 826 人、無料観覧者 189 人）

⑧ 「第 7 回新潟仏壇工芸」展・「越後生紙」展

新潟市の伝統工芸品「新潟仏壇」並びに越後各地に伝わる生紙文化を紹介した。

共催：新潟仏壇組合・越後生紙振興会

開催期間 平成 30 年 10 月 16 日（火）～11 月 11 日（日）

観覧者数 1,503 人（有料観覧者 943 人、無料観覧者 560 人）

⑨ ボランティア企画展・開港 150 周年記念「小澤家とみなと」展

小澤家とみなとの関りについて、当館ボランティアガイド 1 年間の勉強成果を作品として紹介した。

開催期間 平成 30 年 12 月 1 日（土）～平成 31 年 2 月 11 日（月）

観覧者数 1,172 人（有料観覧者 1,030 人、無料観覧者 142 人）

⑩ 「ひな人形とからくり人形」展

新潟島の主な文化施設などと共同で実施する雛人形・町めぐり企画に併せて開催した。

当館所蔵の雛人形や新潟ハイカラ文庫所蔵のからくり人形などを展示した。

共催：新潟ハイカラ文庫

開催期間 平成 31 年 2 月 23 日（土）～3 月 17 日（日）

観覧者数 1,291 人（有料観覧者 849 人、無料観覧者 442 人）

(2) 教育普及事業 189,770 円

旧小澤家住宅を通して新潟の歴史や文化に関する「学び」と「楽しみ」を提案するため、様々な催し物の開催とともに体験学習を実施した。

① 庭園講習会・・・6 月 30 日(土)、11 月 17 日(土)

夏場と冬場に向けた庭木の手入れについて、当館庭師による講習会を実施した。

② 立川志の彦 落語会 in 旧小澤家住宅・・・7 月 14 日(土)

立川志の彦氏による親子向けと一般向けの落語会を開催した。

③ 惑星を見る会・・・7 月 21 日(土)夜

火星の大接近に合わせ、子どもたちに夜空を見上げる楽しみと自然に親しんでもらう事を目的に開催した。

④ 「旧小澤家住宅に泊ろう！」・・・7 月 28 日(土)、29 日(日)

近隣小学校の児童を対象に、かつての生活様式（蚊帳つり、銭湯、御膳）の一端を学び取ってもらう事を目的に開催した。後日、落選者向けの特別講座も開催した。

⑤ 新潟漆器の製作体験・・・8 月 10 日(金)～15 日(水)

「新潟漆器」展の関連企画として、沈金絵付や箸の研ぎ出し体験を実施した。

- ⑥ 新潟シティガイド移動講座「にじいろカフェ」・・・9月16日(日)
ベテランシティガイドを講師に、観光ボランティアの意義・新潟シティガイドの役割についての講演会を開催した。
- ⑦ ふろしき講座・・・9月23日(日)
「ふろしき」展の関連企画として、ふろしきの活用講座を実施した。
- ⑧ 新潟仏壇工芸・越後生紙ワークショップ・・・10月21日(日)、28日(日)、11月3日(土)
「新潟仏壇工芸」展・「越後生紙」展の関連企画として、それぞれの職人によるワークショップ(金具打ち・蒔絵塗、和紙折染め・紙の花・提灯づくり)を開催した。
- ⑨「小澤家の繁栄と 北前船が運んできた新潟民謡」・・・11月18日(日)
小澤家の繁栄と、新潟の船運の歴史を学芸員が解説し、その後、新潟市民謡連盟が北前船によって運ばれたとされる民謡を紹介した。
- ⑩ 江戸『からくり人形』実演会・・・11月24日(土)、25日(日)
江戸時代から伝わる技術で作ったからくり人形を紹介した。
- ⑪ クリスマスのテーブルアレンジメント・・・12月9日(日)
花や葉を使ったクリスマスらしいフラワーアレンジメント教室を開催した。
- ⑫ 稲穂で作る正月飾り・・・12月16日(日)
稲穂などの自然の素材を使った正月飾り作りの教室を開催した。
- ⑬ 稲わらでつくるひな人形・・・2月24日(日)
「ひな人形とからくり人形」展の関連企画として、稲わらを使ったひな人形作りの教室を開催した。
- ⑭ 江戸『からくり人形』実演会・・・3月2日(土)、3日(日)
「ひな人形とからくり人形」展の関連企画として、江戸時代から伝わる技術で作ったからくり人形を紹介した。
- ⑮ テーブルアレンジメント ONE DAY 講習会・・・3月2日(土)
「ひな人形とからくり人形」展の関連企画として、ひな祭りをイメージしたテーブル花飾り教室を開催した。
- ⑯ 春の酒づくし・・・3月16日(土)、17日(日)
日本酒とおつまみを楽しんでもらいながら、当館学芸員、小売店主、バーテンダーが日本酒に関する講座を開催した。
- ⑰ ボランティアガイド事業
旧小澤家住宅のボランティアガイドによる勉強会を7回実施すると共に、ボランティア企画展・開港150周年記念「小澤家とみなと」展を開催した。

(3) 施設普及事業 462,254 円

旧小澤家住宅での様々な楽しみ方を提案するため、時候に合わせた「しつらい」とともに催し物を実施した。

また、事業取組の参考とするため、来館者ニーズのアンケート調査を実施した。

① 山野草の展示・・・5月9日(水)～20日(日)

旧小澤家住宅の風合いを来館者から楽しんでもらうため、通り土間にさまざまな山野草を展示した。

② 藤見煎茶会・・・5月13日(日)

藤の花の咲く季節に合わせ、藤ノ間において煎茶会（煎茶道東阿部流）を開催した。

③ 夏至祭・・・6月9日(土)、10日(日)

夏の町家の雰囲気を楽しんでもらうため、夏至の日に合わせて音楽や飲食を提供した。なお、和服での来館者は入館料を無料とした。

非公開部分（離れ座敷、奥座敷二階）の公開、庭園のライトアップ（9日20時まで）

④ フレッシュ本町まつり・・・7月22日(日)

地域協力事業として下本町商店会の祭を共同開催し、入館料を無料とした。

⑤ フレッシュ本町「コスプレストリート」・・・5月20日（日）、9月30日(日)

地域協力事業として下本町商店会のイベントに協力し、入館料を無料とした。

⑥ 湊下町展「町灯篇」・・・10月20日(土)

秋の町家の雰囲気を楽しんでもらうため、「旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会」との共催で開館を20時まで延長し、周辺のライトアップを行った。

また、来館者へは煎茶道東阿部流のご協力による呈茶サービスを行った。

⑦ 秋の大文化祭・・・11月23日(金)祝

秋の町家の雰囲気を楽しんでもらうため、文化祭を開催して音楽や飲食を提供した。

非公開部分（離れ座敷、奥座敷二階）の公開、庭園のライトアップ（20時まで）

⑧ 年忘れ煎茶会・・・12月22日(土)

年末の煎茶会（煎茶道東阿部流）の開催に合わせ、からくり人形（茶運び人形と文字書き人形）の実演を楽しんでもらった。

⑨ 花で彩る・・・1月12日(土)～20日(日)

小澤家住宅のお正月の雰囲気を楽しんでもらうため、通り土間と茶ノ間に春を先取りした色とりどりのお花で飾った。

⑩ 小澤家ごっつおブランチ・・・2月2日(土)

小澤家住宅の雰囲気と、新潟らしい食事、旧小澤家住宅周辺で買える新鮮な食材を楽しんでもらうため、食事会を開催した。

今回は鮭をテーマに、当館学芸員による講演も行った。

⑪ 箏と尺八の演奏会・・・2月23日(土)

旧小澤家住宅の春の雰囲気を楽しんでもらうため、「ひな人形とからくり人形」展の関連企画として箏の演奏会を開催した。

(4) 調査研究事業 1,000 円

みなとまち新潟に対する市民の理解を深めるため、小澤家文書や小澤家より寄贈された資料を調査し、その成果を「小澤家ゆかりの品々」展、「小澤家とみなと」展で紹介した。

また、市民が中心となった町並み研究組織「旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会」にも賛助会員として参加した。

(5) 収蔵資料保存管理事業 9,656 円

今年度、新規に受け入れた資料の仮整理・収蔵作業を行った。

2 文化施設管理受託事業 16, 706, 318 円

旧小澤家住宅管理事業

指定管理の受託事業者として新潟市文化財の適正な維持管理運営を行い、来館者および利用者へのサービスの向上に努めた。

※ 平成30年度旧小澤家住宅入館者数 17, 576 人

1 付帯事業 36, 340, 195 円

(1) 市民芸術文化会館付帯事業 31, 874, 101 円

市民芸術文化会館の文化事業を推進し、館のイメージアップを図るため、来館者へのサービスを充実するとともに施設に触れる機会の提供に努めた。

- ① 友の会の運営
- ② ショップの運営
- ③ 飲食サービスの実施
- ④ 貸館公演チケットの受託販売
- ⑤ バックステージツアーの実施

(2) 音楽文化会館付帯事業 3, 373, 394 円

来館者に対するサービスを充実するとともに、館の認知度を高めるため、施設に触れる機会の提供に努めた。

- ① 喫茶室、自動販売機等の設置
- ② 貸館公演チケットの受託販売
- ③ 市民参加型企画の実施

(3) 新潟県民会館付帯事業 28, 260 円

来館者へのサービスをより充実させるため、鑑賞用グッズの販売や他館で開催される催し物チケットの受託販売、各種自動販売機の設置などを実施した。

- ① 貸館公演チケットの受託販売
- ② 自動販売機の設置
- ③ 各種サービス事業の実施

(4) 歴史博物館付帯事業 1, 047, 568 円

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行った。

- ① 物販等ショップの運営
- ② 自動販売機の設置

(5) 旧小澤家住宅付帯事業 16, 872 円

旧小澤家住宅では、新潟漆器、ふろしき、布製バッグなどを委託で販売し、季節に合わせてこまめに商品の入れ替えを行っている。

当館はオリジナル商品として、箸置き、つま楊枝、お菓子、手ぬぐいなどの開発・販売にも力を入れ、平成 30 年度からは「しもまちマスキングテープ」の販売を始めた。

2 施設貸与事業 217, 498, 934 円

来館者へのサービスの充実を図るため、公益目的以外の活動に対しても施設の貸出を行った。

- | | |
|------------|--------------|
| ① 市民芸術文化会館 | (55,344,451) |
| ② 音楽文化会館 | (1,588,135) |
| ③ 県民会館 | (72,072,053) |
| ④ 歴史博物館 | (73,379,055) |
| ⑤ 旧小澤家住宅 | (15,115,240) |

2 令和元年度事業計画

当財団は、新潟市民の芸術文化及び歴史文化の振興を図り、もって、自主的自発的な市民文化の創造に寄与することを目的とする公益財団法人として、新潟市において感動し驚きに出会い、そして共に生きる絆を創る人々の文化的プラットフォームの構築に寄与し続けるための事業展開に努めます。

平成 31 年度は、5 月に G20 新潟農業大臣会合が開催されるとともに、秋には県内はもとより全国からのお客様を迎える国民文化祭にいがた、障がい者芸術・文化祭などが芸術文化会館や県民会館を拠点施設として開催され、市民の皆さんから「住みよいまち・暮らしたいまち新潟」を実感してもらうための事業を展開します。

また、開港 150 周年を迎え、整備が完了した旧新潟税関庁舎をはじめとして歴史博物館等を通じ「みなとまち新潟」の魅力を全国世界の皆さんから楽しんでいただくための事業を展開します。

財団運営では新潟市の財政が厳しい状況下にあり、3 年間の集中改革がスタートします。これを機に財団の事業の点検・見直しを含めた財団改革の取り組みを進めます。

公1 事務局事業

72,404 千円

文化事業 72,404 千円

平成 28 年 9 月に設立した「アーツカウンシル新潟」の運営を通じ、市民の自主的な文化芸術活動を支援するほか、新潟市の文化的な環境の充実、各分野の文化活動の活性化を目的とした事業を実施する。

(1) 「アーツカウンシル新潟」の運営 60,315 千円

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 文化プログラムの新潟市での推進に向けて、新潟市と連携し、以下の市内の文化芸術団体への支援を行う。あわせて、第 34 回国民文化祭・にいがた 2019 の開催支援を通じた、文化芸術振興の仕組みや環境の整備に取り組む。

<文化芸術活動の支援>

事業実施、助成等の資金調達、情報発信及び広報等、文化芸術活動全般に関する市民団体等の相談を受け付け、助言、マッチング等の支援を行う。

また、市民主体の文化芸術活動の活性化と、持続・自律化に向けて、市や国、民間財団等が実施する助成制度を活用した支援を行う。

市内の文化芸術団体が持続的、自律的に活動することのできる基盤、仕組みづくりを進め、多くの市民が文化芸術に触れることのできる環境を創出することをめざす取り組みに対して、対象となる経費の 3 分の 2 以内、上限額 100 万円で助成金を交付する。なお、取り組みを実施する主体（団体、個人）としての成果を見込むものではなく、広く成果が共有できる取り組みを対象としている。

助成回数は3回を限度とし、2年目が2分の1以内、3年目が3分の1以内とする。

<調査・研究>

市内現況調査及び国内の先進事例調査等、文化芸術活動に関する相談受付、新潟市の文化施策の企画・立案に必要な調査・研究を行う。

文化庁委託事業「2019年度文化芸術創造都市推進事業」申請中。(10,844千円)

<情報発信>

市内の文化芸術活動を効果的に発信し、海外からの誘客につながる情報を発信するため、多言語対応や文化庁「文化情報プラットフォーム」と連携したホームページを活用、適宜更新し、支援情報等、文化プログラム推進に向けて効果的に情報発信を行う。

また、アーツカウンシル新潟のPRと、市民文化芸術活動団体の掘り起しや交流によるネットワーク形成等を目的に、市民が気軽に相談・利用できる文化情報スペースを運営するとともに、同スペースを活用し、有識者等、ゲストを交えた交流企画「語りの場」を概ね6回程度開催する。

<企画・立案>

市の文化政策として行う事業に対して、調査等に基づく専門的な見地から助言や提言を行う。また、新潟市文化創造交流都市ビジョンに対する政策・施策・事業評価を継続的に行う。

新潟県委託事業「第34回国民文化祭・にいがた2019 新潟・阿賀エリア及び佐渡エリアコア事業コーディネーター業務」(971千円)

(2) 支援助成事業 3,249 千円

市民の自発的な文化芸術活動の充実・活性化と新潟市の文化芸術活動の振興を目的として、市民が行う文化芸術事業に対して、申請時期を3回に分け、対象となる経費の3分の2以内、上限50万円で助成金を交付する。

助成回数は計3回を限度とし、補助率は2回目2分の1以内、3回目3分の1以内とする。

(3) 坂口安吾顕彰事業 5,314 千円

新潟市が管理する安吾 風の館での資料展示を行うほか、「坂口安吾デジタルミュージアム(HP)」の充実、安吾顕彰団体と連携を図っての生誕祭の実施により安吾の普及啓発に努める。また、引き続き関連資料の調査研究を行う。

(4) 共催事業 3,404 千円

対象が市内広域におよぶ、文化振興に大きく貢献する以下の文化事業を共催し、負担金を支出する。

- ・第67回新潟市芸能まつり
- ・第51回新潟市美術展
- ・第33回新潟市郷土芸能公演
- ・2019にいがた総おどり祭(下駄総踊り)

(5) 表彰顕彰事業	122 千円
新潟市美術展などの新潟市で開催される公募展に財団賞を交付する。	

○ 新潟市民芸術文化会館及び新潟市音楽文化会館

1, 228, 312 千円

1 文化事業 527, 190 千円

市民芸術文化会館の三つの専門ホールや音楽文化会館等諸施設を十分に生かした、質の高い創造性あふれる鑑賞事業を主催するとともに、音楽などの愛好者の拡大とジュニアの育成を目的とした事業を行う。

また、市民芸術文化会館、音楽文化会館、及び県民会館を芸術文化活動の拠点施設に、全国に向けて創造的に音楽・舞台芸術などを発信しながら芸術文化の振興を図る。

(1) 音楽事業 184, 043 千円

東京交響楽団との提携による質の高い演奏と幅広い曲目内容の演奏会、日本を代表するコンサートホールにふさわしい演奏家を招聘した世界水準の演奏会、親子を対象とした音楽ファン拡大のための演奏会など、バラエティに富んだプログラム内容を実施する。ホールの改修工事が終了し、数年ぶりに通年開館する年度であることを考慮し、市民各層のさまざまなニーズに応えるラインナップとした。

① 鑑賞事業 (127,600)

ー東京交響楽団シリーズー

・東京交響楽団新潟定期演奏会

第113回 平成31年 5月26日(日)～ショスタコーヴィチ：交響曲第5番～

第114回 7月14日(日)～ドヴォルザーク：交響曲第7番～

第115回 9月15日(日)～ブラームス：交響曲第3番～

第116回 10月20日(日)～ビゼー：「アルルの女」組曲～

第117回 12月1日(日)～ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第3番～

第118回 平成32年 3月29日(日)～バッハ：マタイ受難曲～

ー東響定期+α

・ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団

平成31年7月3日(水)

ーピアノ・リサイタルシリーズー

・No.38 ジャン・チャクムル ピアノ・リサイタル

平成31年8月1日(木)

・No.39 エリック・ル・サージュ ピアノ・リサイタル

平成31年9月26日(木)

ーリ्यूとぴあ器楽リサイタルシリーズー

・No.6 マチュー・デュフォー フルート・リサイタル

平成31年7月27日(土)

・No.7 グザヴィエ・ドゥ・メストレ ハープ・リサイタル

平成31年10月4日(金)

・No.8 デイリー・カー コントラバス・リサイタル

平成31年11月21日(木)

ー茂木大輔のオーケストラ・コンサート・シリーズー

・No.14 スメタナ「わが祖国」

平成31年9月1日(日)

ーオルガン・シリーズー

・山本真希リサイタルシリーズ No.26

平成31年12月14日(土)

・山本真希リサイタルシリーズ No.27	平成 32 年 3 月 15 日(日)
・ファン・デ・ラ・ルビア オルガン・リサイタル	平成 31 年 6 月 1 日(土)
ーホール体験事業ー	
・1 コインコンサート	
Vol.100 第 100 回記念「ピアノ 駅伝」	平成 31 年 5 月 11 日(土)
Vol.101 「オーボエ」	平成 31 年 6 月 21 日(金)
Vol.102 「トロンボーン四重奏団」	平成 31 年 7 月 17 日(水)
Vol.103 「オルガン」	平成 31 年 9 月 6 日(金)
Vol.104 「ヴァイオリン」	平成 31 年 10 月 9 日(水)
Vol.105 「ギター」	平成 31 年 11 月 28 日(木)
ー音文レジェンド・シリーズー	
・No.3 荘村清志 ギター・リサイタル	平成 32 年 3 月 1 日(日)
・No.4 徳永二男 無伴奏ヴァイオリン・リサイタル	平成 32 年 3 月 8 日(日)
ー室内楽ー	
・宮川彬良&アンサンブル・ベガ	平成 31 年 4 月 27 日(土)
・鈴木大介&大萩康司	平成 31 年 4 月 28 日(日)
・5 台ピアノの世界	平成 31 年 5 月 12 日(日)
・細川千尋トリオ (ジャズ)	平成 31 年 12 月 20 日(金)
ーその他ー	
・オペラシアターこんにゃく座「タンゴ」	平成 31 年 12 月 22 日(日)
・バレンタインコンサート「ドグマ室内オーケストラ」	平成 32 年 2 月 11 日(火・祝)
・避難訓練コンサート	平成 31 年 10 月 28 日(月)
② 育成・普及事業 (56,443)	
ー子供たちのための音楽会ー	
・「オーケストラはキミのともだち」	平成 31 年 8 月 10 日(土)
ー市民参加合唱団ー	
・にいがた東響コーラス	平成 31 年 7 月 ～平成 32 年 3 月
ージュニア等育成事業ー	
・ジュニアオーケストラ教室育成事業	
第 38 回演奏会	平成 31 年 9 月 8 日(日)
ニューイヤー・コンサート	平成 32 年 1 月 13 日(日) 音文 通年
・全国公立ジュニアオーケストラ連絡協議会 フェスティバル	平成 31 年 8 月 18 日(日) 浜松
・ジュニア合唱団育成事業	
第 29 回定期演奏会	平成 31 年 7 月 21 日(日)
ニューイヤー・コンサート	平成 32 年 1 月 19 日(日) 音文
第 41 回新潟県少年少女合唱団合同演奏会	平成 31 年 8 月 18 日(日)
にいがたジュニアコーラス・フェスティバル 2020	平成 32 年 2 月 2 日(日)

- ・ジュニア邦楽合奏教室育成事業
第 24 回定期演奏会 平成 31 年 8 月 4 日(日)
和楽器わくわく体験デイ 平成 31 年 8 月 24 日(土)
- ・ジュニア音楽教室第 16 回スプリングコンサート 平成 32 年 3 月 28 日(土)
- ーその他ー
- ・オルガン講座 通年
- ・オルガン普及プログラム（サマーデイズ、ニューイヤー）平成 31 年 8 月 25 日（日）他
- ・りゅーとぴあアウトリーチ事業 通年
ジョイント・コンサート 平成 32 年 3 月 7 日（土）秋葉区
- ・コンサートホール企画連絡会議 通年

(2) 演劇事業 144, 586 千円

多様な専門機能を持つ劇場を活用し、公共や民間の劇場がプロデュースした企画及び小劇場系の演劇作品や伝統芸能など様々な公演を開催し、にぎわいのある劇場空間の創造と観客の拡大を目指す。さらに専門ホールの特性を活用した新潟発の演劇作品を創造し、全国に向けて発信する。本年度はプロデュース企画の「イン・ザ・プール」、東宝（株）との共同事業「十二番目の天使」（ツアー公演）、東京芸術劇場との共同製作「ありとあらゆるステキなものたち」（仮）などを実施する。演劇スタジオ APRICOT を通して次世代を担う子どもたちのなかから舞台芸術に携わる優れた人材や観客を育むとともに、演劇ワークショップの実施により、広く演劇に携わる人材の育成と演劇活動の振興を図る。

① 鑑賞事業 (96,819)

- ・りゅーとぴあ・東宝共同事業「十二番目の天使」（新潟公演） 2 回公演
平成 31 年 4 月 6 日（土）・7 日（日）
- ・「キネマと恋人」 3 回公演 平成 31 年 7 月 26 日（金）～28 日（日）
- ・「お気に召すまま」 2 回公演 平成 31 年 8 月 30 日（金）～9 月 1 日（日）
- ・第三十一回ふるまち新潟をどり 2 回公演 平成 31 年 9 月 8 日（日）
- ・NE/ST 公演 劇団チョコレートケーキ「治天ノ君」 1 回公演 平成 31 年 9 月 18 日（水）
- ・宮崎駿「最貧前線」 2 回公演 平成 31 年 9 月 28 日（土）～29 日（日）
- ・成井豊演出作品「(演目未定)」 1 回公演 平成 31 年 10 月 19 日（土）
- ・前川知大演出作品「(演目未定)」 1 回公演 平成 31 年 11 月 30 日（土）
- ・「常陸坊海尊」 1 回公演 平成 32 年 1 月 25 日（土）
- ・水都寄席「春風亭小朝独演会」 1 回公演 平成 32 年 3 月 8 日（日）
- ・倉持裕 作・演出作品「(演目未定)」 1 回公演 平成 32 年 3 月 29 日（日）

② 育成・普及事業 (12,536)

- ・りゅーとぴあ演劇スタジオ APRICOT 通年（発表公演：夏季・春季／アウトリーチ：1 月）
- ・りゅーとぴあ演劇ワークショップ 年 3 回(時期未定)

③ 新潟発創造事業 (35,231)

- ・りゅーとぴあ・東宝共同事業「十二番目の天使」 17 回公演
平成 31 年 4 月 6 日（土）～29 日（月・祝）

- 新潟・金沢・水戸・香川・久留米・福井・名古屋・兵庫
 ・りゅーとぴあ発「イン・ザ・プール」 平成 31 年 6 月 29 日(土) 1 回公演 劇場
 平成 31 年 7 月 11 日(木)～15 日(月・祝) 5 回公演
 あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)
 ・東京芸術劇場共同製作「ありとあらゆるステキなものたち」(仮) 3 回公演
 平成 32 年 2 月 8 日(土)・9 日(日)・11 日(火・祝)

(3) 能楽事業 24, 607 千円

伝統様式に則った本格的な能舞台を活用し、子どもから一般までを対象とした普及に重点をおいた鑑賞公演を実施する。これに際し、訪日外国人を意識した多言語パンフレットも作成する。さらに能狂言に対する知識や興味を高める能楽講座、子どもたちを対象とした囃子と狂言のワークショップやアウトリーチ事業の能楽体験講座を開催することにより若年層への能楽普及を図る。

① 鑑賞事業 (20,707)

- ・春の能楽鑑賞会「歌占」(観世流) 1 回公演 平成 31 年 4 月 21 日(日)
- ・茂山狂言公演 1 回公演 平成 31 年 7 月 6 日(土)
- ・秋の能楽鑑賞会「(未定)」(宝生流) 1 回公演 平成 31 年 10 月 26 日(土)
- ・野村万作萬斎狂言公演 2 回公演 平成 31 年 12 月 21 日(土)
- ・新作能「利休」 1 回公演 平成 32 年 3 月 14 日(土)【予定】

② 育成・普及事業 (3,900)

- ・能楽基礎講座「若手能楽師に聞く 能の楽しみ」 年 3 回 平成 31 年 5 月 21 日(火)
8 月 18 日(日)
平成 32 年 1 月 26 日(日)
- ・「舞の習い」(観世流能楽鑑賞教室) 平成 31 年 6 月～8 月【予定】
- ・こども☆能楽たいけんワークショップ「さわってみよう能の世界」 平成 31 年 11 月【予定】
- ・能楽ワークショップ[囃子](能楽堂・市内小中学校) 平成 31 年 6 月 18 日(火)～19 日(水)
- ・能楽ワークショップ[謡](市内中学校) 平成 31 年 7 月【予定】
- ・能楽ワークショップ[狂言](能楽堂・市内小中学校) 平成 32 年 2 月 17 日(月)～18 日(火)

(4) 舞踊事業 119, 624 千円

全国唯一のレジデンシャル・ダンス・カンパニーである Noism の活動による、水準の高い新潟オリジナルの舞踊作品を国内外に向けて創造発信することを通して舞台芸術の振興を図る。さらにアーティストが地域に定住する特性を生かし、舞台芸術に携わる優れた人材や観客を育む。また、新潟市や他都市の劇場・音楽堂等との連携・協力関係を構築することにより、全市的及び地方の拠点施設としての役割と地位を高め、文化創造都市としての更なるイメージ向上を目指す。

新潟発創造事業 (119,624)

- ・りゅーとぴあ レジデンシャル・ダンス・カンパニー Noism カンパニー運営事業
Noism15 周年記念公演「TRIPLE BILL」(仮)

新潟公演	3 回公演	平成 31 年 7 月 19 日(金)～21 日(日)
東京公演	2 回公演	平成 31 年 7 月 27 日(土)～28 日(日)
Noism1 新作「(タイトル未定)」		
新潟公演	3 回公演	平成 31 年 12 月 13 日(金)～15 日(日)
埼玉公演	2 回公演	平成 32 年 1 月 17 日(金)～19 日(日)
Noism2 札幌公演	2 回公演	平成 31 年 4 月 19 日(金)～20 日(土)
Noism2 定期公演	4 回公演	平成 32 年 2 月 14 日(金)～16 日(日)(予定)
Noism 関連事業「柳都会」	4 回開催予定	(4 月、7 月、10 月、1 月)
Noism「カルメン」モスクワ公演	3 回公演	平成 31 年 5 月 29 日(水)～31 日(金)
Noism「R.O.O.M.」シビウ公演	2 回公演	平成 31 年 6 月 15 日(土)～16 日(日)
Noism「NINA」中国・杭州公演	2 回公演	平成 31 年 9 月 6 日(金)～7 日(土)
Noism「s s s」シアター・オリックス公演	2 回公演	平成 31 年 9 月 20 日(金)・22 日(日)

(5) 共催事業 0 千円

芸術団体、文化事業実施団体等とのタイアップにより、効果的な事業運営と芸術文化の振興を図るほか、文化団体との共催による全国規模の事業を行う。

- ・春の新潟音楽ウィーク（新潟市） 平成 31 年 4 月 27 日(土)～5 月 5 日(日)
- ・ジブリの思い出がいっぱい（UX） 平成 31 年 6 月 22 日（土）
- ・前橋汀子ヴァイオリン・リサイタル(NST) 平成 31 年 10 月 5 日(土)
- ・ケント・ナガノ指揮 ハンブルク・フィルハーモニー管弦楽団(TeNY) 平成 31 年 11 月 1 日(金)
- ・第 67 回新潟市芸能まつり 平成 31 年 10 月～11 月音文ほか
- ・劇場で踊ろう！ダンスキッズ大集合(県女子体育連盟) 平成 32 年 1 月 11 日(土)
- ・第 14 回春季全国高等学校演劇研究大会<フェスティバル 2020>（新潟県高等学校文化連盟演劇専門部） 平成 32 年 3 月 17 日(火)～22(日)

(6) 広報営業事業 18,841 千円

公演情報を積極的に発信するとともに、チケット購入者を拡大や大口の顧客確保、ホールスポンサー制度の新規導入など、広報・営業活動を効果的に展開していく。合わせて上質な施設機能を広くアピールすることで、会館の知名度の拡大と利用促進を図る。

7 月より新チケットシステムを稼動し、友の会とインターネット会員の拡大、業務の効率化を図っていく。

また、指定管理を受託している新潟県民会館の事業も併せて広報・営業活動を効果的に展開し、市民芸術文化会館、音楽文化会館、県民会館の 3 館一体管理による文化ゾーンとしての魅力を高め発信していく。

- ・広報営業事業
- ・音楽広報事業
- ・演劇広報事業

- (7) 調査研究諸費 942 千円
次年度以降の事業の企画立案や円滑な施設運営を図るため、先進ホールの運営や優れた公演などについて調査・研究を進め、ノウハウの取得や人的交流の拡大に努める。
- (8) 事業企画諸費 14, 573 千円
音楽・演劇・舞踊等の各分野において、その専門家からの指導・助言を受け、優れた芸術文化事業を効果的に企画・実施するとともに、専属オルガニストを引き続き配置し、オルガン音楽の魅力を内外に発信する。
・芸術監督（音楽部門・演劇部門・舞踊部門）
・専属オルガニスト
・演劇企画プロデューサー
- (9) 事業管理経費 19, 974 千円
票券業務、託児サービス業務などを引き続き実施し、お客様の利便性の向上に努める。

2 文化施設管理受託事業 701, 122 千円

- (1) 市民芸術文化会館管理事業 594, 024 千円
平成 10 年 10 月に開館した市民芸術文化会館は、通年の自主事業・貸館事業等に市民を始めとする多くの方々に来館いただいている。
平成 31 年度も一層のサービス向上に努め、より多くの来館者に安心・快適に利用してもらえるよう管理運営を行う。
① コンサートホールの管理
② 劇場の管理
③ 能楽堂の管理
④ ギャラリーの管理
⑤ スタジオの管理
⑥ 練習室の管理
- (2) 音楽文化会館管理事業 107, 098 千円
昭和 52 年 11 月に開館した音楽文化会館は、13 の練習室と成果発表に多く使用されるホールを備えた全国でも特徴のある施設として永く市民に親しまれてきた。
平成 10 年度より当財団がその管理を受託している。
平成 31 年度も市民芸術文化会館及び県民会館との一体的な管理を図りながら会館の管理運営を行う。
① ホールの管理
② 練習室（13 室）の管理

○ 新潟県民会館

145, 148 千円

1 文化事業 17, 175 千円

県民会館の舞台機能等を活かした大型舞台芸術の公演や県内全域での芸術文化の普及事業、さらには県内公立文化施設の活性化に向けた事業などを展開する。

また平成 31 年度より導入する、新チケット販売システムや、新潟市民芸術文化会館との連携による広報などを活用し、平成 31 年度は、事業のさらなる活性化と収益の拡大を目指す。

- ・中澤卓也コンサート 故郷から全国へ ～The beginning of a dream～ 2 回公演
平成 31 年 4 月 14 日 (日)
- ・エイミー・ハナイアライ ～ミュージック＆フラ・コンサート～ 1 回公演
平成 31 年 6 月 5 日 (水)
- ・歌舞伎プレセミナー 平成 31 年 6 月 30 日 (日)
- ・松竹大歌舞伎 (夏公演) 2 回公演 平成 31 年 7 月 17 日 (水)
- ・劇団四季「エビータ」 1 回公演 平成 31 年 9 月 28 日 (土)
- ・劇団四季「こころの劇場」 2 回公演 (予定)
平成 31 年 10 月 15・16 日 (火・水)
- ・宝塚歌劇団 全国ツアー 2 回公演 平成 31 年 10 月 22 日 (火祝)
- ・トリエステ・ヴェルディ歌劇場 オペラ「椿姫」 1 回公演
平成 31 年 11 月 6 日 (水)
- ・新潟ダンスの祭典 1 回公演 平成 31 年 11 月 17 日 (日)
- ・鼓童「巡 MEGURU」(仮題) 1 回公演 平成 31 年 12 月 1 日 (日)
- ・スタインウェイピアノを弾こう！ 平成 32 年 1 月 19 日 (日)
- ・出張！たたこう館 (親子で太鼓体験) 平成 32 年 3 月 1 日 (日)
- ・太鼓出張訪問ワークショップ 平成 32 年 3 月 2 日 (月)
- ・アート・プロデュース講座 平成 32 年 3 月 (予定)
- ・アウトリーチ事業 開催日未定

2 文化施設管理受託事業 127, 973 千円

県民会館管理事業

県民会館は、県民の生活の向上と、教育、文化の発展に寄与するという目的のもとに設置された施設であることから、この設置意義を十分認識し、新潟県内における文化振興の拠点施設として適切に機能するよう管理運営に取り組むとともに、市民芸術文化会館及び音楽文化会館との連携を図る。

- ① 大ホールの管理
- ② 小ホールの管理
- ③ ギャラリーの管理
- ④ その他施設 (会議室・談話室、展示コーナー、情報ラウンジ等) の管理

○ 新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等

140,856 千円

1 文化事業 13,404 千円

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため以下の各種事業を行う。

(1) 展示運営更新 0 千円

常設展示室の部分展示替え等により情報内容を更新する。

(2) 企画展示事業 8,039 千円

興味深いテーマを設定し、地域の歴史・文化を楽しく分かりやすく市民に伝える展示を行う。
今年度は指定管理事業として以下の4本の企画展を開催する。

① 「新潟市の文化財」

開催期間 平成31年4月13日～6月16日 57日間

新潟市域に所在する指定文化財のうち、主に公的機関が管理するものの中から地域の特徴をあらわす資料をえらび、その歴史や魅力を紹介する。

② 「開港場新潟」

開催期間 平成31年7月13日～8月25日 39日間

本年、新潟市は開港150年を迎えた。本展では、新潟開港が決定するまでの道のりや開港を迎えた当時の状況、その後の新潟の変化など、開港をめぐる新潟の歴史を紹介する。

③ 第16回むかしのくらし展「布」

開催期間 平成31年9月14日～12月8日 74日間

糸車のような布の生産に必要な道具や、洗濯板など関連する道具、白根しぼりのように新潟市に関係がある布などを紹介する。

④ 収蔵品展・新収蔵品展

開催期間 平成32年2月15日～3月22日 32日間

館収蔵資料を効果的に公開するため、テーマを設けて資料を紹介する収蔵品展と、2019年度に新たに受け入れた資料を紹介する新収蔵品展を開催する。

⑤ その他

次年度に開催予定の企画展の準備を行う。(印刷物の作成等)

※このほか、自主事業で「地図と古写真で見る“新潟の文明開化”」を開催する。

(3) 教育普及事業 851 千円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人やモノ、情報などの資源を活用して、市民へ歴史に関するさまざまなサービスを提供したり、学校等の教育活動を提案したりするとともに、レファレンス用開架図書を追加する。

① 体験の広場事業

小学生や家族連れを主な対象として、「つかう」、「しらべる」、「つくる」という機能を持つ、3つの広場「昔のくらしに触れる場」、「情報学習の場」、「創作活動の場」での体験プログラムを、土・日・祝日を中心に年50回程度開催する。

また、夏休み向けの体験や大人を対象とした体験プログラムなど、対象を設定した体験プログラムも織り交ぜて行く。

※このほか、自主事業で「みなとびあこども歴史クラブ」と「大人の体験プログラム」を開催する。

② 博・学連携事業

小学校・中学校の見学に際し展示解説等の対応を行うとともに、新潟大学と連携して当館学芸員の寄附講義や大学生の実習受入れを行う。学校のニーズに応じて出前授業にも対応する。

③ 講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案するため、幅広い年齢層や個別のニーズに対応する以下の各種講座を開催する。

・博物館講座	年10回程度（4、3月を除く各月の第3日曜日）
・館長講座	全4回（3／1・8・15・22）
・古文書入門講座	全4回（11／3・17、12／1・15）

※このほか、自主事業で「中級古文書演習」と「史楽講座」を開催する。

④ ボランティア事業

常設展示解説、敷地解説、体験の広場プログラムでのボランティア活動を支援するとともに、館の顔としてスキルアップを図る。またボランティア活動への新規希望者に向けた研修を行う。

（4）施設普及事業 2,580 千円

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図る。

① 地域連携

地元市民団体と共催し、博物館を会場に野外コンサートや夏祭りなどのイベントを開催する。

② みなとびあファンクラブ

「みなとびあファンクラブ」会員を対象とした事業を行う。講演会や企画展鑑賞会、史跡探訪ツアーや新潟市内の街歩きなどを開催する。

(5) 調査研究事業 681 千円

市民の関心を呼び起こすテーマの探求や博物館活動の発展のために、調査研究活動を行う。
当館の基本テーマである「湊と湊町」「低湿地のくらし」に合わせた調査・研究を基本とし、そのほか学芸員が各自のテーマで調査・研究を実施する。そうした成果を博物館講座等で市民に報告するとともに、研究紀要として刊行する。

(6) 資料整理事業 1, 253 千円

寄贈や購入などにより受け入れた歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行う。

① 保存環境管理

歴史資料を長期保存するための資料保全・環境整備。

新規収集資料の燻蒸・殺虫処置や、博物館収蔵庫・石庫・新潟市文化財センター・旧木場小学校・旧板井保育園等に所蔵する資料を、よりよい状況で保存するための IPM をはじめとする資料保存環境の管理に努める。

② 資料収集整理

地域の歴史資料を収集するとともに、資料を保存管理するための基礎的データや資料活用するための資料情報を調査・記録し、データベース化する整理作業を行う。併せて、資料の保存のためのクリーニング・養生などの処置を行う。

2 文化施設管理受託事業 126, 414 千円

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等に加え、信濃川左岸緑地の管理運営を行う。

(1) 歴史博物館管理事業

- ① 博物館本館（常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等）
- ② 旧第四銀行住吉町支店（応接室、会議室、日本間）
- ③ 屋外施設（広場、堀、園路等）

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

- ① 旧新潟税関庁舎
- ② 史跡（石段、石積み、石庫等）

(3) 信濃川左岸緑地管理事業

3 自主事業「みなとぴあ歴史発見プロジェクト」 1,038 千円

平成 27 年度から実施している自主事業で、こどもからおとなまで幅広く、みなとまち新潟の歴史に親しみ、自ら歴史を発見する喜びを知ってもらい、開港 150 周年を迎えた新潟の街をみんなで盛り上げていこうというもの。事業実施に当たり、地域の企業・団体から協賛金をいただくなど自主財源を確保し、以下の事業を行う。

① 企画展

「地図と古写真で見る“新潟の文明開化”」

開催期間 平成 31 年 12 月 21 日～平成 32 年 2 月 2 日 32 日間

明治元年の開港後、近代化の中で新潟がどのように移り変わってきたのか、その様子を地図と古写真によって視覚的にたどる。

※みなとの博物館ネットワーク・フォーラム助成事業

② 史楽講座

歴史好きの市民に向け、テーマに沿った話を様々な視点で分かりやすく語ってもらう連続講座。6～9 月の第 2 日曜日に開催。

③ 中級古文書演習

「字のくずしだけでなく、実際の古文書を読みたい」「もう少し難しい古文書を解説したい」そんな方にお勧めの宿題あり、予習・復習必須のゼミ形式で古文書を学ぶ。

全 20 回の講座。4～3 月の間、第 2、第 4 水曜日の午前・午後を開講。定員 30 人。

④ みなとぴあこども歴史クラブ

小学生を対象に、古代から現代までの人々の暮らしと生活の一端をプログラム化して、体験してもらうことで、歴史を身近に感じ、かつての暮らしや文化財保護を考えるきっかけづくりを行う。

毎月第 3 日曜日に実施 全 11 回 40 人程度募集

⑤ 大人の体験プログラム

大人が楽しめる歴史・文化にかかわる体験イベントを企画・実施する。

1 文化事業 1, 687 千円

指定管理の受託事業者として、小澤家住宅の設置目的に基づき以下の各種事業を行う。

【旧小澤家住宅の設置目的】

市文化財に指定された旧小澤家住宅を活用し、みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する。

(1) 常設展示・企画事業 464 千円

【常設展示】

みなとまち新潟の歴史・生活文化並びに旧小澤家住宅や小澤家の概要について、グラフィックパネル等で紹介する。

【企画展示】

① 「むかしの子ども服」展

開催期間 平成 31 年 4 月 6 日（土）～4 月 21 日（日）

昨年度寄贈を受けた小澤家ゆかりの子ども服を展示し、衣料の形態からむかしの暮らしの一端を紹介する。

② GW特別展「端午の節句飾りと小澤家ゆかりの品々」展

開催期間 平成 31 年 4 月 27 日（土）～5 月 19 日（日）

観光客が多いゴールデンウィークに合わせ、端午の節句飾りを展示し、道具蔵にて当館及び小澤氏所蔵の資料を展示する。

③ 「屏風と掛け軸」展

開催期間 平成 31 年 6 月 1 日（土）～6 月 16 日（日）

古建築という館の特製を活かし、新潟市歴史博物館協力のもと館内各所で風合いにあった屏風と掛け軸を展示する。なお、展示資料の選定、展示設営作業は市民参加型を予定する。

協力：新潟市歴史博物館

④ 「東日本大震災と海のゴミ」展

開催期間 平成 31 年 7 月 6 日（土）～7 月 15 日（月）

海の日的前後にあわせ、小澤家とも縁の深い「海」の現代的な問題に触れる機会として、一般社団法人 J E A N 所蔵の海ゴミ問題啓発に関する写真パネルを展示する。

協力：一般社団法人 J E A N

⑤ 「二代目七三郎と旅行」展

開催期間 平成 31 年 7 月 27 日（土）～9 月 1 日（日）

夏期休暇期にあわせ、家族連れ客にも馴染みがあるテーマとして旅行を取り上げる。これにあたり昨年度寄贈を受けた新資料を中心に展示を構成する。

⑥「ふろしき」展

開催期間 平成 31 年 9 月 7 日（土）～9 月 29 日（日）

むかしの道具の一つとして「ふろしき」を取り上げ展示する。これにあたり小澤氏所蔵の古いふろしきと現代のふろしきをあわせて展示することで、用途のみならず、その意匠の違いを新旧比較してみるための機会とする。

共催：ふろしきや

⑦「新潟仏壇工芸・越後生紙」展

開催期間 平成 31 年 10 月 22 日（火）～11 月 10 日（日）

当市の伝統的工芸品の一つ「新潟・白根仏壇」から「新潟仏壇」を展示する。これにあたり仏壇製作の技法を用いた仏壇以外の製作物の展示と職人の紹介も行う。

また、県内の手漉き和紙職人による組合「越後生紙振興組合」と共催し、県内の各所に伝わる様々な和紙制作技法を紹介する。

共催：新潟仏壇組合、越後生紙振興組合

⑧ ボランティア企画「小澤家の人びと（仮）」展

開催期間 平成 31 年 11 月 23 日（土）～平成 32 年 2 月 2 日（日）

当館ボランティアスタッフ有志による、市民参加型の企画展。2018 年度に引き続き「小澤家」をテーマに毎月勉強会を開き、その成果を発表する場として展示を行う。これにあたりボランティアスタッフが展示内容を検討し、展示設営作業を行う。

⑨「ひな人形とからくり人形」展

開催期間 平成 32 年 2 月 22 日（土）～3 月 22 日（日）

上巳にあわせ、当館及び近隣に伝わったとされる雛人形を展示する。また、日本の伝統的な人形文化の一端を紹介する目的で新潟ハイカラ文庫所蔵の古式雛当館ボランティアによる企画展。あらためてみなと小澤家の歴史を振り返る。

(2) 教育普及事業 283 千円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人やモノ、情報などの資源を活用して、市民へ歴史に関するさまざまなサービスを提供したり、学校等の教育活動を提案したりする。

① 体験学習事業

- ・仏壇工芸体験、生紙体験 「新潟仏壇・生紙」展中
- ・稲穂でつくる正月飾り
- ・稲わらでつくるひな人形

② 宿泊体験事業

- ・新潟市内の小学 4 年生を招いて、宿泊体験を行う。

③ 講座・講習・講演会事業

- ・企画展の内容に即した講演会
からくり人形実演
- ・庭園講座 全 2 回（春 1 回、秋 1 回）
- ・秋の酒づくり 平成 31 年 9 月 7 日（土）、8 日（日）
- ・春の酒づくり 平成 32 年 3 月 20 日（金）、21 日（土）、21 日（日）
- ・大徳寺真珠庵 おはなし会 平成 31 年 6 月中

- ④ ボランティア事業
 - ・新規ボランティア養成
 - ・ボランティア勉強会の実施
 - ・ボランティア企画展の実施
- ⑤ 企画展体験事業
 - ・屏風展の企画・展示作業

(3) 施設普及事業 638 千円

旧小澤家住宅の活動を広く市民に知ってもらうため、広報用の印刷物を作成したり、SNS による情報発信をしたり、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行ったりする。

また、季節に合わせたしつらいや、イベントの開催などにより、来館の動機付けを行う。

- ① 芸術文化活動の開催
 - ・市民企画フラワーアレンジメント 花で彩る 平成 32 年 3 月中
 - ・フラワーアレンジメント体験
- ② 季節に合わせたしつらい
 - ・山野草の展示
 - ・応接セットの展示
- ③ 季節に合わせたイベントの開催
 - ・夏至祭 平成 31 年 6 月 22 日（土）、23 日（日）
 - ・秋の大文化祭 平成 31 年 11 月 23 日（土・祝）

(4) 調査研究事業 104 千円

市民が注目し、深く関心のあるテーマの探求や本施設における活動の発展のために、調査研究活動を行う。

(5) 収蔵資料の保存管理事業 178 千円

旧小澤家より寄贈を受けた歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用する。新規受け入れ資料の保存と目録の作成。

(6) その他事業 20 千円

地元団体、関連施設と連携した催事を開催する。

- ・新潟市民茶会 平成 31 年 10 月 6 日

2 文化施設管理受託事業 15,991 千円

旧小澤家住宅管理事業

新潟市文化財に指定されていることを理解し、利用者へのサービスの向上に努め、旧小澤家住宅（情報案内所・藤ノ間・百合ノ間・道具蔵・離れ座敷等）の管理運営を行う。

1 付帯事業 32, 462 千円

(1) 市民芸術文化会館付帯事業 30, 276 千円

市民芸術文化会館の文化事業を推進し、館のイメージアップを図るため、来館者へのサービスを充実するとともに施設に触れる機会の提供に努める。

- ① 友の会の運営
- ② ショップの運営
- ③ 飲食サービスの実施
- ④ 貸館公演チケットの受託販売
- ⑤ バックステージツアーの実施

(2) 音楽文化会館付帯事業 1, 111 千円

来館者に対するサービスを充実するとともに、館の認知度を高めるため、施設に触れる機会の提供に努める。

- ① 喫茶室、自動販売機等の設置
- ② 貸館公演チケットの受託販売
- ③ 市民参加型企画の実施

(3) 県民会館付帯事業 22 千円

来館者に対するサービス充実のため、館のイメージアップを図り、施設に触れる機会の提供に努める。

- ① 貸館公演チケットの受託販売
- ② 自動販売機の設置
- ③ 各種サービス事業の実施

(4) 歴史博物館付帯事業 852 千円

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行う。

- ① 物販等ショップの運営
- ② 自動販売機の設置

(5) 旧小澤家住宅付帯事業 201 千円

来館者に対するサービスの充実を目的に、和の文化、みなとまちや歴史に関するグッズ等を扱ったショップの運営を行う。

- ① 物販等ショップの運営

2 施設貸与事業 **234, 283 千円**

来館者へのサービスの充実を図るため、公益目的以外の活動に対しても施設の貸出を行う。

- | | |
|------------|----------|
| ① 市民芸術文化会館 | (69,690) |
| ② 音楽文化会館 | (1,411) |
| ③ 県民会館 | (70,434) |
| ④ 歴史博物館 | (77,808) |
| ⑤ 旧小澤家住宅 | (14,940) |